

環境保健協議会だより

全戸
配布

第29号



ごみの出し方5原則

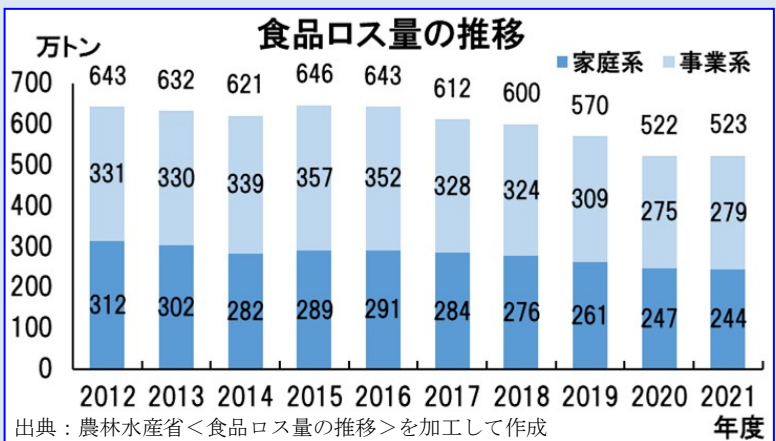
1. 決められた曜日の
2. 決められた時間に
3. 決められたものを
4. 決められた方法で
5. 決められた場所へ

食品ロスとは何ですか？ 本来食べられるのに廃棄される食品で、形が崩れたりして規格外になった加工食品や賞味期限の切れた加工食品、家庭や飲食店での食べ残したものを指します。

何が問題なのですか？ 2021年度の年間食品ロス量は523万トンと推計され、日本の人口1人当たりの食品ロスは年間約41キログラムです。日本の食料自給率(カロリーベース)は37%で、多くを海外からの輸入に依存しながら、現実はその多くを捨てています。

捨てられた食品は、可燃ごみとして焼却処理されることにより、CO₂の排出や焼却灰の埋め立てなど多額のコストとともに環境負荷なども問題になります。

どうして発生するのですか？ 2021年度の年間食品ロス量523万トンのうち、事業系は279万トンで、規格外や返品、売れ残りや食べ残しなどです。家庭系は244万トンで食べ残しや手つかずの食品、皮の剥きすぎなどが主な要因で



す。また、消費者庁が平成29年に調査した実証事業で、まだ食べられるのに捨てた理由は①食べ残し57%②傷んでいた23%③期限切れ11%でした。

減らすためにできることは何ですか？ 基本は、買い物の時に**買いすぎない**、料理をするときに**作りすぎない**、外食の時に**注文しすぎない**ことで、いずれにしても重要なことは**食べること**です。

買い物のとき

買い物前に食材チェック

事前に冷蔵庫内の食材を確認し、メモなどで買い物時の参考にする。

**必要な分だけ買う**

使う分や食べられる量だけ買うようにし、なるべくまとめ買いを避けて必要な分だけ買って、食べる。

**期限表示を知って、賢く買う**

使う予定を考えて、期限表示を確認する。すぐ使う予定のものは、棚の手前から取るようにする。



調理、食事のとき

適切に保存

食品に記載された保存方法に従って保存する。野菜は、冷凍・乾燥などで下処理してストックする。

**食材を上手に使い切る**

残っている食材から使うようにする。作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで工夫する。

**食べきれぬ量を作る**

体調や健康、家族の予定などを考慮し、食品ロスが出ないように作る量を工夫する。



クックパッド消費者庁のキッチンでリメイクや食材を使い切るレシピを参考にしましょう。



外食のとき

店を選ぶ

食品ロス削減に積極的に取り組む店を選び、食べきれない料理を持ち帰ることができる店を選ぶ。

**注文**

小盛メニューやハーフサイズなど食べられる量を相談できること。

**食事**

食べきれない場合は、みんなでシェアして食べきるようにして料理をおいしく食べる。



出典：政府広報オンライン版より

MOTTAINAIキャンペーン

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性ワンガリ・マータイさんは、「もったいない」を環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。



官製ハガキに回答のほか住所、氏名、電話番号を書いて協議会事務局へ。
正解者の中から抽選で20名の方に粗品を進呈。締め切りは2月末日消印まで。
※記載していただいた個人情報は、目的以外には使用しません。

第66回定時総会および表彰式が開催されました 高崎市文化会館 令和5年6月2日(金)

6月2日(金)多くの環境保健委員さんにご出席いただき、第66回定時総会および表彰式が高崎市文化会館で開催され、令和5年度の事業計画や予算案などが承認されました。表彰は下記のとおりです。



市長表彰 環境活動優良町内

高崎市功労者表彰(敬称略)

嘉多町 吉田安次、請地町第2 吉田富男、鶴見町 福田國男
通町第2 松岡法之、並榎町北部 吉田英一郎、江木町第2 茂木静子、
江木町第4 市川隆一郎、石原町下第3 麻田勝人、下豊岡町第2 芦谷次雄、
八幡町第2 横田三郎、中居町二丁目第1 平田定次、上中居町第4 内山隆、
中居町四丁目第2 阿部庄三郎、新町第6区 古澤久義、
上室田2区 上野和子、下里見北村区 中嶋雄三、本郷奥原 神宮香



会長表彰

高崎市環境衛生事業功労者表彰

環境活動優良町内 昭和町第3、八島町第2、羅漢町、天神町、
小八木町第1、倉賀野町下、下斎田町、新保町第2、中室田2区

高崎市環境保健協議会会長表彰

8年勤続環境保健支部長23名、 6年勤続環境保健支部長25名
3年勤続環境保健支部長47名

夏期全体研修会が開催されました

群馬音楽センター 令和5年8月18日(金)

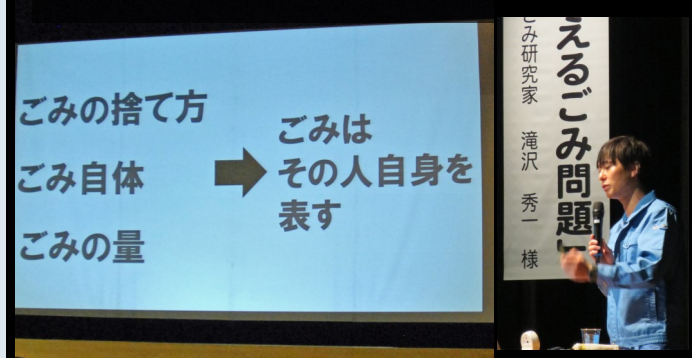
テレビなどでおなじみの「マシガンズ／滝沢秀一」様を講師に迎え、現代のごみ問題について様々な角度から大変興味深いお話を聞かせていただきました。

滝沢様は1998年にコンビを結成して以来お笑い芸人として活動する傍ら、2012年より「ごみ収集会社」で清掃員として現在も勤務する異色の芸人です。

この日の講演では、ごみの収集作業から見える「社会世相」や「食品ロス問題」「環境問題」について、ご自身の体験をもとにわかりやすい言葉でお話いただきました。日々ステーション管理をしている環境保健委員さんにとっても参考になるお話を伺うことができました。

ごみ清掃員芸人と考えるごみ問題

お笑い芸人／ごみ研究家 滝沢秀一様



地区活動交付金の活用について

環境部一般廃棄物対策課様



「ごみステーション管理などの環境保健委員さんの日常業務やパトロール・勉強会などの地区活動においては様々な問題や困りごとを抱えています。」

今回はこれらのことを解決する手段の一つとして、高崎市の「地区活動交付金」制度について、活用事例を交えて講演いただきました。この制度を有効に活用することにより、ごみステーションの整備や啓発看板の設置、ごみ分別排出の町内回覧など、ハードとソフト両面から問題の解決が期待できそうです。

昨年に続き、保健所健康課の保健師の皆さんに、今日から始められる健康づくりについて、実技を織り交ぜて教えていただきました。

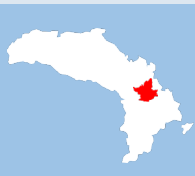
講演始めに教えていただいた「高崎ひらめき市歌体操」は、高崎市の市歌を聞きながらリズムカルに無理なく体を動かせることができました。また、後半の高齢者向け筋トレも椅子を使っただけの全身運動で、生活動作に必要な筋力を身につけることができそうです。興味のある方は、保健所の健康課に相談してみてもいいかもしれません。

今日から実践！健康づくり

保健医療部健康課 保健師の皆様



地区活動紹介 中川



中川地区(中川・浜尻)は、高崎市の北中部に位置し地区の中央を国道17号高前バイパスが走り、商工業の盛んな地域へと発展し、地区内には大学・中学校と小学校2校があります。

鉄道の駅としては、高崎駅から5分くらいにあるJR問屋町駅・JR井野駅と二つの駅があることから、多くのマンション等が立ち並び、首都圏への通勤・通学等も多くなっている地域です。

当地区は、13町内9,000世帯を抱える地域で、環境組織は会長を中心に理事制によって受け持ち地域を明確にし、連絡調整のしやすい風通しの良い構造になっています。

環境保健委員の活動は多岐にわたりますが、特にごみ減量の重要性を理解するため、高浜クリーンセンター等の現地見学を実施しています。

特徴的な活動では、多くの協力員とともにごみ拾い運動を展開し、収集物は市の公民館へ集積します。また、若い人たちに対しては地区祭りで専用のテントを設置し、特に小中学生を対象に分別指導を実施しています。

近隣の住民から苦情の多い犬のフン害については、早朝から環境保健委員が全員で「犬フン害防止キャンペーン」として井野川及び正観寺川沿いの堤防を中心としたパトロールでフン持ち帰りの啓発をしています。

また、資源分別などごみステーション管理にも力を入れ、秋期環境パトロールには市の職員も参加



エコパーク様名見学研修



犬フン害防止キャンペーン



し、日々の活動における疑問や相談など関係職員との貴重な交流の場となっています。当地区では各町内活動の支援も行っており、環境保健委員のほか協力員に対してマスクと手指消毒液を配布し、新型コロナウイルスやその他の感染症対策にも万全を期しています。更に今年度100人ほどの協力員に対し、環境役員としての身分を明確にするため専用の名札を作成して配布しました。この他、チリ取りやホウキ・手袋などごみステーション清掃用具等も各町内に配布し活用していただいています。

ごみを排出される住民の皆さんへの対応としては、地区内ごみステーションに掲示する共通の啓発看板も毎年作成し配布しています。今年度は、特に資源物や燃やせないごみの分別に特化した啓発看板を作成しました。



新しい看板の付いた妙典寺駐車場内(小八木町第1)の新設ステーション(燃やせないごみ・資源物)

地域の環境美化やごみの分別排出指導においては、地区環境支部長会のほか地区区長会や関係団体と研修反省会を通して意識の共有化を図りながらきれいな環境で暮らしやすい中川地区を目指し、今後も支部長会活動を続けていきます。

Column 世の中長引く新型コロナの感染拡大により、スポーツ団体をはじめ多くのイベント等の自粛も余儀なくされた3年間でした。このような状況下でも私たち環境保健委員としての取り組み活動は自粛・縮小することができないため、様々な危険と向い合せの活動だと思いますが、環境保健委員全員で頑張っていきたいです。

中川地区会長 渾川昭夫

群馬県環境賞受賞

守田委員(堰代町)は、22年間にわたり地域の環境美化に貢献してこられたことが評価され、令和5年度の群馬県環境賞を受賞されました。

お知らせ (information)

お問い合わせ／一般廃棄物対策課 027 (321) 1253

ごみの分別や収集日、出し方など、わからないことは市で配付している
ごみかわら版をご覧ください。

スマートフォン用の
ごみ分別アプリ
さんあ〜るもご活用ください。



高崎市立長野小学校
5年 鈴木 琴音さん



高崎市環境保健協議会長賞

令和5年度
高崎市環境ポスター展
特別賞

私たちの環境は私たちの手で

高崎市環境保健協議会

370-8501 高崎市高松町35番地1 (高崎市役所内) 027 (321) 1252 令和6年2月15日発行